

補正予算など24議案を可決しました！

九月定例会は二日に開会し、二十二日に閉会しました。補正予算十一、条例二、一般八、人事二の計二十四議案を審議し、すべての議案について、原案通り可決・同意しました。また、十二の決算議案を企業会計・特別会計決算及び一般会計決算の各特別委員会に付託し、継続審査としました。

今回の一般会計補正予算は、主に豪雨災害復旧経費、エスプラッツ活用推進事業費、水道料金不均衡対策経費、子育て支援環境づくり事業費などで、補正予算額は約四十八億三千三百万円、補正後の予算総額は約八百七十八億五千四百万円となり、前年度同期に比べ三・四％の増となっています。

◎一般会計補正予算の主なもの 豪雨災害復旧経費

三十七億千二百一十万円

今年の六月豪雨及び七月豪雨に係る災害復旧経費です。早急に対応すべきものについては、既決予算や予備費で対応し、一日も早い復旧に向けて全力を挙げて取り組んでいます。

エスプラッツ活用推進事業費

三千三百万円

エスプラッツ二階の空き区画に保育施設の入居が内定したことに伴い、施設の給排水、空調等の設備工事や間仕切り工事等に要する経費です。

水道料金不均衡対策経費

二千九十三万円

平成十九年の南部三町との合併に伴う水道料金の不均衡対策として、対象地区内の水道使用者に係る水道料金の一部を補助するため、佐賀東部水道企業団及び西佐賀水道企業団に対し、所要の経費を負担するものです。

子育て支援環境づくり事業費

七百八十六万円

子育て世代の外出支援の一環として、子ども連れの多い公共施設や飲食店、病院などの民間施設にベビーストールを整備するための経費です。

◎条例等の主なもの

佐賀市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例

大和町川上地区に、コミュニティ活動、社会教育・生涯学習活動等の拠点施設として、佐賀市立川上コミュニティセンターを設置するものです。

意見書

▼最低賃金の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める意見書案
(賛成少数で否決)

▼米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める意見書案
(賛成少数で否決)

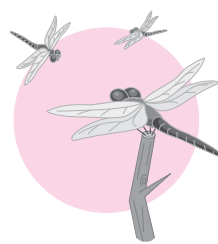
▼子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書案
(全会一致で可決)

▼地方財政の充実・強化を求める意見書案
(全会一致で可決)

人事

人権擁護委員候補者の推薦について、次のとおり異議なき旨答申した。

▽長田 惲
(大和町大字尼寺)



議会だよりの掲載写真募集中!!

- ◇テーマ まちで見かけた素敵な風景、心温まる情景、紹介したい催しなど。
※被写体が人物の場合、必ず被写体本人の承諾を得てください。
- ◇応募規定 2L判サイズでプリントしたもの。応募者自身に著作権のある未発表、未公開のオリジナル作品で、他の写真展等で入選された作品は応募できません。また、加工作品も応募できません。
- ◇応募方法 必ず、応募者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名及びその説明を添えて、下記にご郵送ください。
- ◇応募先 〒840-8501 佐賀市栄町1-1
佐賀市議会事務局「議会だよ写真」係
電話 0952-40-7311

掲載作品の著作権は佐賀市議会に帰属します。郵送中の事故、破損等についてはその責任を負いません。掲載料・賞品等はありません。なお、応募作品の返却は致しかねます。

●次号は2月15日に発行予定。

本会議の傍聴者アンケートを始めました。

(今定例会の傍聴者数は133人)

- ・活発な討論が行なわれている様子がよくわかりました。
- ・初傍聴でしたが、入口が閉鎖的に感じました。階段も地下室に下りていくような感覚です(笑)。誰もが入りやすい雰囲気であればもっと傍聴する人も増える気がします。

議 案 質 疑

第99号議案 平成22年度佐賀市一般会計補正予算（第2号）

歳出 民生費 子育て支援環境づくり事業費補助金 7,000千円

（質疑）①事業の内容、目的及びこの提案に至った経緯 ②申請方法、また、補助が決定するまでの流れ ③単年度事業か。

（答弁）①子育て支援に関する環境整備を目的として、佐賀県において平成21年度に創設された安心こども基金を活用する事業で、この補助事業を活用して公共施設及び民間施設等に対してベビーシートやベビーベッド等の設置を積極的に促進し、乳幼児を持つ保護者が外出先で気軽におむつがえや授乳のできる施設等を増加することで子育て支援を行うものである ②こども課窓口にて事業計画や予算を記載した申請書を提出し、その後市が一括して県に交付申請を行い、県の補助金交付決定に沿って市が申請者に補助金交付決定の通知を行う ③安心こども基金が平成22年度までの設置になっているので、この事業も平成22年度のみのものである。

歳出 商工費 ひなまつり魅力向上・情報発信業務委託料 15,026千円

（質疑）①目的、委託内容、雇用の形態、資格要件 ②緊急雇用創出事業のため雇用期間が短い、業務遂行の点等で問題は ③各部署でリサーチした結果を市全体として情報共有する必要があるのでは。

（答弁）①佐賀城下ひなまつりにおける魅力の向上及び観光客の周遊性の向上を図るための「シュガーロードの魅力情報発信事業」と観光客の周遊性の向上及び滞在時間の延長を目的とした「佐賀城下ひなまつりおもてなし装飾事業」の2事業を委託。「魅力情報発信事業」では、市内全域の菓子店の訪問調査、お菓子マップの作成、ホームページへの情報の掲載などを行い、期間中は菓子店や飲食店への案内やケーキバイキングなどのイベントを行う。11月から3月までの3名及びイベントのため2月上旬から5名を雇用予定。「おもてなし装飾事業」では、メインルート上を生け花で装飾するための生花の装飾計画、装飾テーマの設定、周辺地域等との連絡調整、花の仕入れや手入れ、装飾箇所及び周辺の整備などを行い、また、フラワーアレンジメント体験等のイベントも行う。12月から3月まで4名雇用の予定。両事業とも経験者等が望ましいが、特に資格要件を設ける予定はない ②必要な期間に必要な雇用を行うという形態のため、十分な事業効果がある ③取りまとめた情報は広く広報し、また情報を共有し、観光行政やまちづくりに活用していく。



歳出 災害復旧費 3,324,130千円

（質疑）①約3,000の災害箇所について復旧工事の発注スケジュールは ②今年度の災害復旧工事の発注予定は ③昨年度の災害復旧工事は入札不調が続出した。今年度の対策は ④今回、工事箇所に対して施工業者が足りないために市北部の業者以外にも復旧工事を発注しなくてはならない。山間部には水田等の用排水、工事用道路の確保など難しい問題もあるが、その対策は。

（答弁）①公共土木施設の災害箇所は災害査定が既に終了しており、発注作業等にすぐ取り組める。農地・農業用施設等の災害箇所は11月下旬までに査定を終える予定。同時に実施設計・発注作業も並行して進めたい ②公共土木施設は今年度に100%発注したい。農地・農業用施設も100%の発注率を目指す ③災害査定が終了した公共土木施設の復旧を急ぎたい。農地・農業用施設等は影響を受ける関係者の多い被災箇所を優先的に復旧させる。また、施工効率を上げるために同じ地区、同じ進入路を使う災害箇所はまとめて発注したい ④農地災害の復旧工事では農地を借用したり、工事で圃場の中に入ったりと施工に伴う調整等に多くの手間を要する。しかしながら、今回の復旧事業は市北部以外の業者の協力が不可欠なので、支所等の協力を得ながら、施工業者と地権者等の顔合わせ等に積極的に配慮していきたい。



総務

一般会計補正予算中、公有財産購入費二億九百三十一万円について

〔説明〕平成十八年度策定の『佐賀市土地開発公社経営改善計画』に基づき、平成十九年度から十年間をかけて土地開発公社の特定土地を買い戻している。

今年度は将来の公園用地としての活用を見込みながら、久保泉工業団地の土取

り場として平成五年に土地開発公社で先行取得した先立運動公園を含む四つの物件を買い戻す予定である。

〔質問〕先立山を土地開発公社で先行取得した経緯は。

〔答弁〕久保泉工業団地を造成するために土取り場を早急に取得する必要があった。このために先立山を土地開発公社で先行取得し、そこから土砂を搬入して工業団地を整備した。

〔質問〕財産を取得する場

合には、行政財産としての取得と普通財産としての取得がある。今回、普通財産として買い戻す理由は。

〔答弁〕市が財産を取得する場合に使用目的があれば行政財産となる。今回の特定土地は、当初は使用目的があつて公社に先行取得を依頼したが、その後の情勢の変化等でその目的がなくなり、そのままの状態で放置されていた。

常任委員会

文教福祉
佐賀市奨学金条例を廃止する条例について

〔質問〕奨学金制度を新たに検討する考えはないのか。

〔答弁〕教育委員会が第一に責任を負うべきは義務教育、子育て支援だと思つている。優先順位を考えて、どれを行つていくのかを改めて議論するべきと考えている。

〔質問〕現在、奨学金の給付

決定を受けている場合は給付期間が満了するまでの間給付事業を継続するということだが、その場合、国の制度と市の制度の両方が適用されるのか。

〔答弁〕市の奨学金は、他の奨学金との併給を禁じているため、他の奨学金を受けずに市の奨学金を選択した方たちが不利益をこうむらないよう、給付期間が満了するまで市が責任を持つよう考慮する。

循環小学校屋内運動場改築（建築）工事請負契約の締結について、高木瀬小学校屋内運動場改築（建築）工事請負契約の締結について、西川副小学校屋内運動場改築（建築）工事請負契約の締結について

〔質問〕二学期の授業にかからないように平成二十三年八月三十一日までが工期とのことだが、一般的な感覚では工期後に検査が入る



先立山

このままでは土地開発公社に非常に大きな負担がかかってしまうために、土地開発公社の改善計画をつくつて、議会にはかり、その目的がなくなった土地を市が帳簿価格で買い戻すことにしている。

このままでは土地開発公社に非常に大きな負担がかかってしまうために、土地開発公社の改善計画をつくつて、議会にはかり、その目的がなくなった土地を市が帳簿価格で買い戻すことにしている。

〔質問〕先立山等は将来的にも使用目的がないのか。

〔審査結果〕すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

と思う。問題はないのか。

〔答弁〕工期後に検査をし、手直し工事などがあつた場合には違約金が業者に生じる場合も出てくるため、業者に負担がかからないように、佐賀市では工期内の検査を原則としており、問題はない。

〔質問〕入学式や卒業式ができない工期設定になつているのはなぜか。

〔答弁〕十カ月の工期が必

要で、五月着工、二月完成

であれば間に合うが、この

体育館の建築事業費は、二

つの国庫補助金があり、こ

れらの申請は五月に行い、

七月に交付決定となる。

よつて、これより前に工事

を始めると指令前着工となり、補助事業として認められない。もし、すべてを一般財源で行えば、五月着工、二月完成も可能だが、何億という金額となるため難しい。



高木瀬小学校屋内運動場改築のようす

経済企業

一般会計補正予算中、農地・農業用施設災害復旧費二十六億二千二十八万円について

〔質問〕今年四月の機構改革により、大和や三瀬で被災した農家が富士支所内にある北部建設事務所まで行く必要が出てくるが、どう対応するのか。

〔答弁〕できるだけ担当者が災害現場に赴くようにしたい。

〔質問〕農家の自己復旧に

対する助成はないのか。

〔答弁〕田んぼの土砂撤去の機械リース料等への助成や水路などの地元復旧に対する原材料支給などがある。

同予算中、エスプラッツ費三千三百万円について

〔質問〕今回の保育施設の誘致に関して、関係の団体等に相談したのか。

〔答弁〕保育所誘致が目的ではなかったため、関係団体等に相談はしていない。

〔質問〕指定管理者みずから提案だが、公平・公正

の観点から入居に際し、公募等を行うべきではなかったか。

〔答弁〕エスプラッツと中心市街地の活性化に貢献する施設の入居の提案であり、公平・公正の観点を逸脱しているとは考えていない。

〔質問〕市の待機児童は減少傾向にあるなか、入居施設の経営は成り立つか。

〔答弁〕入居予定施設の運営会社では、中心市街地の

保育ニーズを高く見込まれており、健全に運営されるものと考えている。

〔質問〕詳細な事業計画書の提出ができない状態で、入居の判断ができるのか。

〔答弁〕運営会社の財務状況なども調べており、経営上は問題ないと考えている。

〔審査結果〕第九十九号議案一般会計補正予算中、エスプラッツ費について、現在の指定管理者が空き区画に入るといことだが、そ

こに至るプロセスに妥当性がないなどの理由から反対意見があり、当該議案の採決に際し、委員一名が退席

されたが、すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。



エスプラッツ

建設環境

付替市道鷹ノ羽畑瀬線受託合併工事委託契約の一部変更について及び付替市道鷹ノ羽小ヶ倉線受託合併工事委託契約の一部変更について

〔質問〕契約の一部変更の内容は工期の延長とのこと、それぞれ半年、五ヶ月とさりのよい延長期間と

なっているが、期間や工事の内容はどのように決めているのか。

〔答弁〕国に委託して行っている工事であり施工計画等についての協議は年に数回行っているが、期間については基本的には国の施工計画、あるいは途中の見直しを了承するという形になる。また内容についても国に一任しているが、住民へ

常任委員会

の影響が出る場合の周知等については市で行うことになる。

一般会計補正予算中、河川排水浄化対策費二千五百一十三万円について

〔質問〕緊急雇用創出基金を活用し、河川、水路の調査を行うとのことだが、委託先はどのように決めるの

か。

〔答弁〕総合コンサル業者を対象に入札を行い決定したいと考えている。委託先については市内業者を優先したいと考えている。

〔質問〕新規雇用者が調査にあたるということだが、この業務は、特殊な技術等を持っていない者でも実施できるようなものなのか。

〔答弁〕一般的に失業者を雇用するという趣旨なので、特殊な技術を要する者を雇用する予定はない。調査の内容については、市内の河川、水路を回って、占用物

があればそれを記録して報告するという内容を考えている。

〔意見〕委託先は一社にする考えとのことだが、市内業者の受注機会を増やすた

めに複数の業者に分割して発注する方法もあると考えられる。一社あたりの受注金額は下がるかもしれないが、分割発注についても検討してほしい。

〔審査結果〕すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

議案審議結果一覧

議案番号	議案名	審議結果	
決算	95 ～ 98 平成21年度佐賀市企業会計（自動車運送、水道、工業用水道、富士大和温泉病院）決算	企業会計・特別会計決算特別委員会に付託	
	121 平成21年度佐賀市一般会計歳入歳出決算	一般会計決算特別委員会に付託	
	122 ～ 128 平成21年度佐賀市特別会計（国民健康保険、国民健康保険診療所、老人保健医療、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水、後期高齢者医療）決算	企業会計・特別会計決算特別委員会に付託	
補正予算	99 平成22年度佐賀市一般会計補正予算（第2号）	補正額 48億3,264万円	賛成多数で可決 全会一致で可決
	100 平成22年度佐賀市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	補正額 3億7,370万円	
	101 平成22年度佐賀市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	補正額 236万円	
	102 平成22年度佐賀市老人保健医療特別会計補正予算（第1号）	補正額 1,101万円	
	103 平成22年度佐賀市公共下水道特別会計補正予算（第2号）	補正額 △13億3,427万円	
	104 平成22年度佐賀市特定環境保全公共下水道特別会計補正予算（第2号）	補正額 △5,539万円	
	105 平成22年度佐賀市農業集落排水特別会計補正予算（第2号）	補正額 175万円	
	106 平成22年度佐賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	補正額 5,829万円	
	107 平成22年度佐賀市市営浄化槽特別会計補正予算（第2号）	補正額 5,056万円	
	108 平成22年度佐賀市自動車運送事業会計補正予算（第2号）		
109 平成22年度佐賀市水道事業会計補正予算（第2号）			
条例	110 佐賀市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例		全会一致で可決
	111 佐賀市奨学金条例を廃止する条例		
	112 佐賀市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例		
一般	113 字の区域の変更について		全会一致で可決
	114 市道路線の廃止について	市の江幹線水路2号線ほか8路線	
	115 市道路線の認定について	市の江幹線水路2号線ほか6路線	
	116 循誘小学校屋内運動場改築（建築）工事請負契約の締結について	金額 2億84万円 相手方 株式会社大洋建設	
	117 高木瀬小学校屋内運動場改築（建築）工事請負契約の締結について	金額 1億9,527万円 相手方 株式会社大洋建設	
	118 西川副小学校屋内運動場改築（建築）工事請負契約の締結について	金額 1億9,740万円 相手方 株式会社大洋建設	
	119 付替市道鷹ノ羽畑瀬線受託合併工事委託契約の一部変更について	工期限の変更 (平成22年9月30日⇒平成23年3月31日)	
	120 付替市道鷹ノ羽小ヶ倉線受託合併工事委託契約の一部変更について	工期限の変更 (平成22年9月30日⇒平成23年2月28日)	
人事	129 佐賀市教育委員会委員の任命について	光吉みやこ（川副町大字早津江）	全会一致で同意

○議案はすべて9月22日に議決。

◎は委員長、○は副委員長

企業会計・特別会計 (定数十一名)											一般会計 (定数十一名)										
黒田利人	平原嘉徳	山下明子	西村嘉宣	池田正弘	川原田裕明	堤正之	原口忠則	白倉和子	○中野茂康	◎本田耕一郎	永瀨義久	重田音彦	福島龍一	中山重俊	千綿正明	亀井雄治	松永憲明	山下伸二	川副龍之介	○野中宣明	◎山本義昭

平成二十一年度の佐賀市の各会計（企業会計・特別会計及び一般会計）決算議案を審査するために設置しました。これらの決算特別委員会は、閉会中に各会計決算議案を審査し、次の十一月定例会において審査報告を行います。

決算特別委員会